

## ◆パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、基調トークの岩間氏に加えて、西濃環境NPOネットワークの主要メンバーであるNPO 法人泉京・垂井の神田副代表、NPO 法人まち創り・服部理事長、NPO 法人ピープルズコミュニティ・安田理事長をパネリストとして迎え、竹内理事長のコーディネートにより、1.西濃環境NPOネットワークに参加したきっかけ、2.参画したことによる自団体のメリット、3.ネットワークのおかげで巻き込むことができた相手 についてディスカッションが行われました。

3 団体共通の認識として、『単体では難しかった行政や教育機関からの信頼を得られるようになり、協働が可能になった』、『自団体にはない考え方やノウハウを学び、活動のスキルが向上した』、『ネットワークで得た人脈から自団体のセミナーに多様な人材を招けるようになった』、『広報やイベントで協力しあえる』などのメリットがあげられました。また、加盟団体同士のきずながどのように育まれたか、という問いに対しては、最初の2 年間は、1泊2日の合宿を何度も行い、構成メンバーの活動、地域性、ステークホルダーについて学びあう場を設けたことが語られました。そうした機会を持つことで、互いの事情を深く知り、勉強会の後は『飲みニケーション』で良好な人間関係を築いたことが、ネットワークが機能する大きな要因であったことが紹介されました。

ネットワークの今後の課題としては、つながりを深めてきた第一世代が、次の世代へとバトンタッチできるようにしていくことであるとの認識でディスカッションは締めくくられました。

